

十九番、石塚

「のちの世を 願う心は
軽くとも 仏のちかい
重き石塚」

真言宗 石塚山 蓮台寺

会津若松市川原町五一五〇

本尊 聖観世音 管理金剛寺

駐車場 あり

トイレ なし

会津若松市一箕町の大塚山にいた葦名(あしな)氏家臣の大塚山氏が石塚に移り石塚氏を名乗ります。本尊は、佐原十郎義連の護持仏という。堂は南北朝時代、葦名直盛の創建といえます。江戸時代初期蒲生忠郷(たださと)が、母で家康の娘・振姫のために再建したという。戊辰戦争で焼失し再建されています。



堂前に駐車。

二十番、御山(おやま)

「はるばると 登りて 拜む
岩屋さん いつも
絶えせぬ 峯の松風」

天台宗 神護山 照谷寺 住職住

会津若松市門田町御山字館山甲三〇八〇

本尊 聖観世音

駐車場 あり

トイレ あり☆

元は、会津若松市の斎場東側、岩屋内にありました。本尊は一寸八分の胎内仏です。八幡太郎義家が会津太郎という賊を討ち取った時に兜に付けていたのがこの胎内仏とされています。天平神護年間、八世紀中頃の創建とされています。柿の木の枝があり、道は狭く、マイクロバスは通れません。



堂前に駐車。マイクロ、中型は柿の枝より通行はできません。「松風の音」は「峯の松風」が正しい。

二十一番、左下り(さくだり)

「左下りは 岩にそびえて
かけ造り いつも絶えせぬ
松風の音」

臨済宗 左下山 観音寺

会津美里町大字大石字東左下り二一七三

本尊 聖観世音 集落管理

駐車場 あり

トイレ なし

県指定文化財
三層の懸け造りで、天長七年(八三〇)草創。堂は、延文三年(一一五八)に葦名氏家臣の富田将監祐義が修理し、その後江戸時代に建て替えられたものです。左下り、とは製鉄集団を「さげ」と呼んだことに由来し、そこに「左下」の文字をあてたもの。周辺には製鉄の遺跡がたくさんあります。三寸の柱を見つけると願いが叶うとされています。



観音堂近くに駐車場があり、乗用車は途中まで登れます。「峯の松風」は「松風の音」が正しい。

